

地域づくり推進会議の運営方法について

1 推進会議へのさらなる担い手や協力者の参画

地域別推進計画に基づく持続的な取組の実行、さらなる拡充には、推進会議参加者だけではなく、地域のさらなる担い手や協力者の力が必要

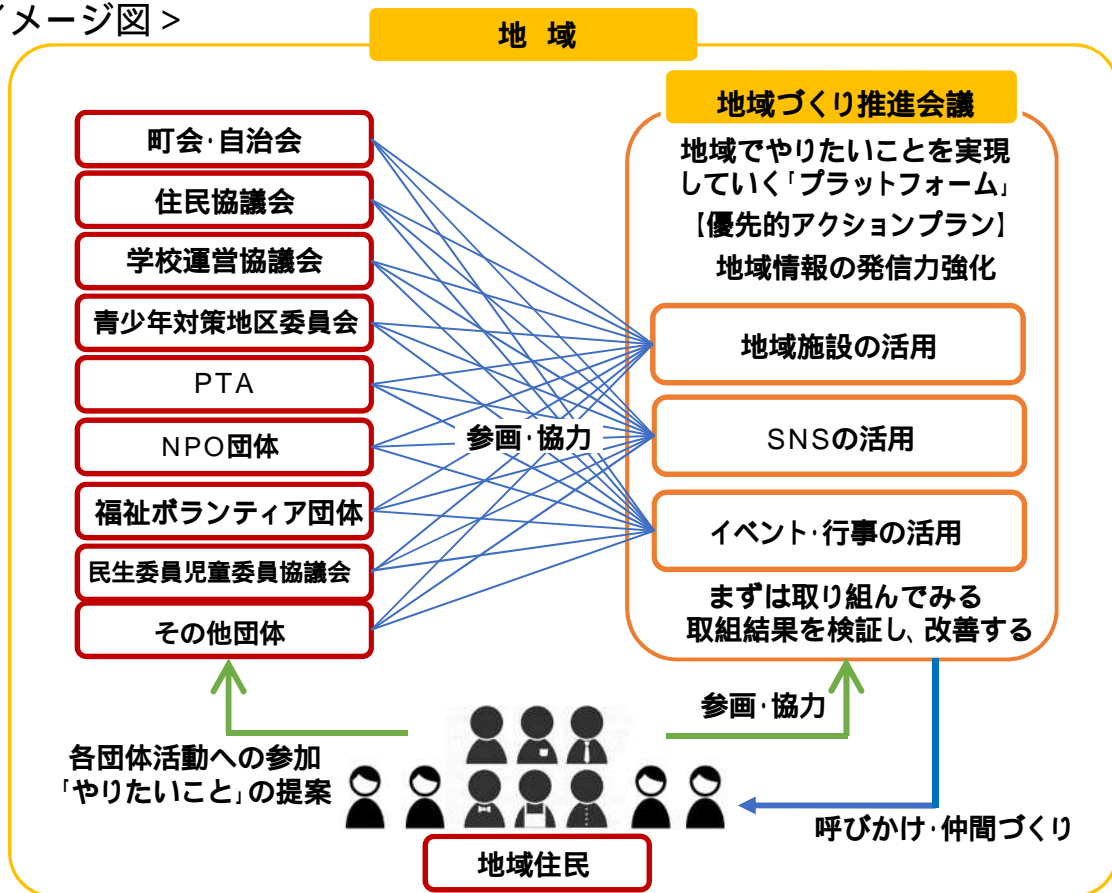


推進会議参加者の所属団体やその他の地域の活動団体や住民の方の参画や協力を得ることで...



推進会議を地域の様々な活動団体や住民の方が地域でやりたいことを実現していく「プラットフォーム」へ

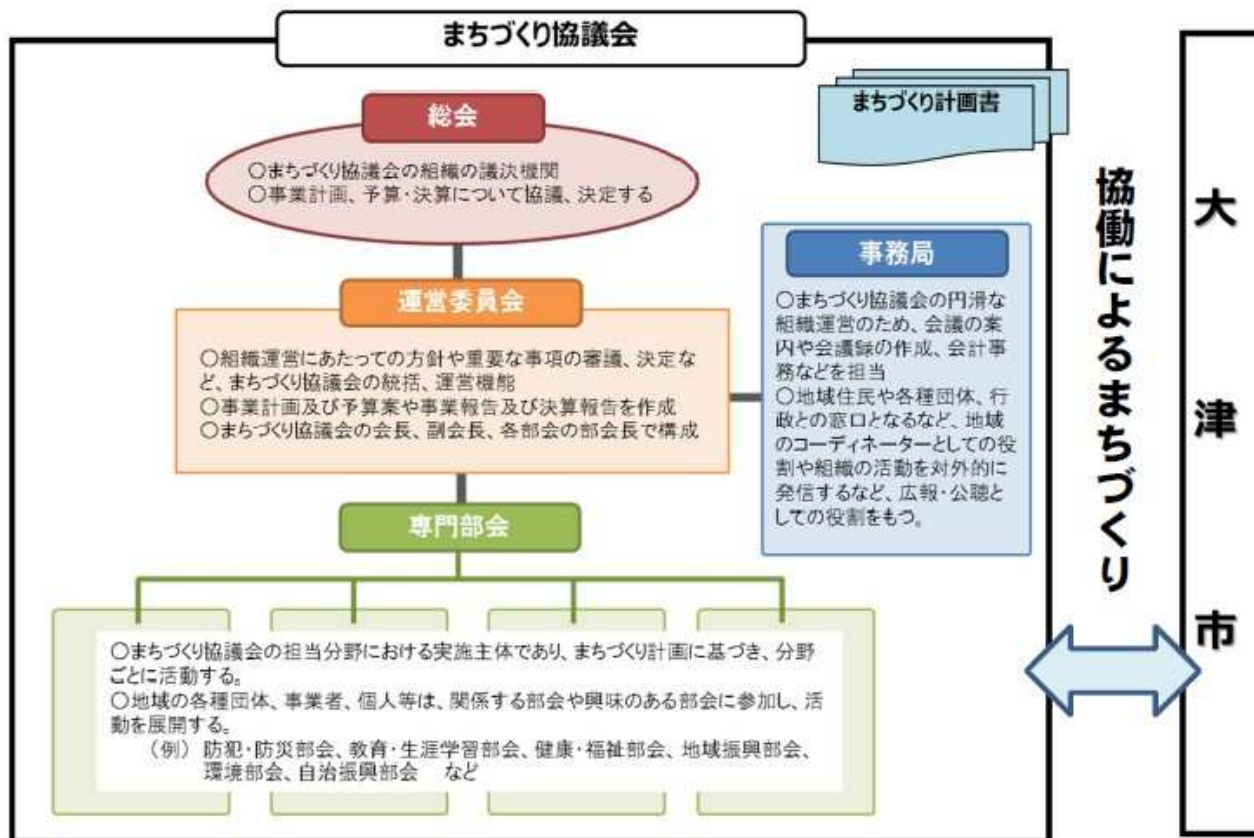
<イメージ図>



2 段階的な推進会議の体制構築

- ・現状の推進会議により多くの活動団体や住民の方に参加してもらうことは難しいため、必要に応じて推進会議のほかに部会等の体制が必要になる
- ・部会の構成は、アクションプランの「取組分野」もしくは「取組」のグループ分けをもとに考えるのか、新たに考えるのか
- ・アクションプランのさらなる議論や取組の進捗にあわせて推進会議の体制を議論し、段階的に構築していく

< 推進会議の体制例 >



出展：大津市(2020)「まちづくり協議会設立の手引き～住民主体のまちづくりに向けて～」

3 地域づくりフォーラムの活用(令和4年(2022年)1月16日(日)開催)

地域の魅力や課題、思い、今後の計画(地域カルテ、将来ビジョン、地域別推進計画)などについて広く意見交換し、仲間づくりを行うことが目的

アクションプラン(優先的に取り組む分野・その他の分野)を一緒に取り組んでいきたい地域の団体や住民(地域づくりワークショップ参加者を含む)に地域づくりフォーラムへの参加をお声掛けください。

< イメージ図 >

